



2021年6月21日

米沢市教育委員会

教育長 土屋 宏 様

米沢の学校給食をよりよくする会

共同代表 我妻 岩子
長瀬 恭子
五十嵐 きよみ
長沼 和子

公開質問書

教育長におかれましては、日ごろから本市の児童・生徒のために重責を担われ、ご尽力いただいていますことに心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、この度米沢市学校給食基本方針が決定されましたが、私たちは大きな疑念を持っています。それは「市民の意見が反映されていない」ということです。

中学校における学校給食のあり方を決める方針を策定するために、昨年6月に学校給食検討委員会が組織され、公募委員を含めた9人が7回にわたって検討を重ねてられました。そして本年2月3日には学校給食検討委員会の意見をまとめた報告書が作成されました。その内容は、「小中学校共に自校方式が最も望ましい」とするものです。

しかし、決定された方針ではこの結論に反し、共同調理（センター）方式とすることとされました。

私たちはこれまで、米沢の学校給食をよりよくするための要請文書を3回にわたって直接手渡しさせていただきました。こうした要請文書は、教育委員会でどのように協議、検討していただいたでしょうか。さらに、私たちは米沢の学校給食をよりよくするための要請署名を集め、市民の皆さんの思いが込められた署名簿を、2回にわたって市長様宛、教育長様宛に手渡しさせていただきました。その数は3,375筆にのぼります。多くの市民の皆さんの思いをどのように受け止められたでしょうか。

また、これまで、例えば「米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画」の策定に当たっては決定前にパブリックコメントが募集され、応募された意見に対する市の考え方が公表されていますが、この度はパブリックコメントが募集されませんでした。この度の基本方針は、中学校における学校給食のあり方を将来にわたって決める重要な事項であるにもかかわらず、市民の意見を聴こうとする取り組みがなされないのはなぜでしょうか。これでは「市民等への説明責任を果たし、行政運営の公正性及び透明性を図り、協働による開かれた市政の推進に資する」との制度の趣旨に反しています。

これらのことが冒頭に申しあげましたように、私たちがこの方針に市民の意見がほとんど反映されていないと考える所以です。多くの皆さんが、当初から共同調理（センター）方式の採用を前提に話が進められてきたのではないかと、疑問を持っています。

つきましては、質問の内容や回答の公開を前提とした公開質問書という形で質問させていただきます。これまで申し上げてきたことにぜひ耳を傾けていただき、下記の項目についてお考えをお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 今回の方針は、市民の意見を十分に反映しているとお考えでしょうか。
- 2 要請文書や署名の取扱いについては、どのように協議・検討がなされてきましたか。
- 3 パブリックコメントを募集しない理由をお聞かせください。
- 4 学校給食検討委員会の「自校方式が最も望ましい」との結論は、何より子どもたちのことを第一に考えての結論だと思います。それでも共同調理（センター）方式を進めようとする理由をお聞かせください。

上記質問項目へのご回答を、2021年6月30日までに文書でお寄せいただきたいと存じます。

将来の学校給食のあり方は多くの市民の皆さんが注目しています。お忙しいところ誠に恐縮ですが、よろしくお願い申し上げます。

文書送付先住所：992-0042 米沢市塩井町塩野1-1

米沢地区勤労者福祉会館内 米沢の学校給食をよりよくする会

メールアドレス：kinro-01@dream.ocn.ne.jp